

令和8年度 INS 岩手県リン資源地産地消研究会

～ 国際情勢を背景としたリンリサイクルの取組について ～

リン（P）は、日常のくらしの中で様々な用途で利用されています。多くはリン鉱石から得られる物質ですが、リン鉱石は地球上に偏在しており、安定的な資源確保が求められています。特に、岩手県の土壌（黒ボク土）はリン酸質肥料を大量消費するため、現在の農業生産を維持する上で重要な課題です。

そのほか、リン酸原料や電池材料など、工業原料としてリン資源は必要不可欠であり、世界的にリンリサイクルの取組が注目されています。

本研究会では、国際的なリン資源の動向に関する情報提供のほか、全国的に「行政主導」で進められているリンリサイクルの取組を「民間主導」へと促し、地域の新たな環境産業創出へ向けた活発な議論を行います。この機会にリンリサイクルについて考えてみませんか？ 皆様の参加をお待ちしています。

- 1 日 時 令和8年12月3日（木）13:00 ～ 17:00 [受付] 12:45 開始
- 2 場 所 （地独）岩手県工業技術センター3階 中ホール 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-25
- 3 共 催 INS 岩手県リン資源地産地消研究会、（地独）岩手県工業技術センター、（公財）岩手県下水道公社
- 4 後 援 （一社）リン循環産業振興機構、INS 環境リサイクル研究会、（公社）日本化学会東北支部
- 5 参加費 無料
- 6 定 員 50 名 ※ 定数になり次第、締め切りとさせていただきます。
- 7 対 象 リサイクル関係者、製造業、プラントメーカー、行政・教育関係者、学生・一般の方
- 8 プログラム

時間	テーマ及び講師	主な内容
13:00	開講挨拶 INS 岩手県リン資源地産地消研究会 会長（岩手大学名誉教授）八代 仁	
13:05 ～ 14:15	【基調講演Ⅰ】 経済安全保障(特定重要物資)とリン ～供給リスクと安定供給および循環利用の課題～ 一般社団法人リン循環産業振興機構 (大阪大学名誉教授 広島大学名誉教授) 理事長 大竹 久夫 氏	○ 経済安全保障(特定重要物資)とリン ○ 高純度リンの輸入依存と供給途絶リスク ○ リンの代替調達と循環利用技術の動向 ○ リンの安定供給の課題と展望 ○ 最近のトピックス
14:25 ～ 15:35	【基調講演Ⅱ】 リチウムイオン電池開発動向とLFP(リン酸鉄リチウム) 電池の地産・地消・地援モデル”Re-Impact” 早稲田大学理工学術院総合研究所 招聘研究員 (元 Panasonic アルカリ蓄電池(事)技術部長、 品質統括センター所長) 三栗谷 仁 氏	○ リチウムイオン電池の開発動向 ・ リチウムイオン電池の開発推移 ・ 現在の LFP(リン酸鉄リチウム)電池の位置づけ ○ LFP 電池の地産・地消・地援モデル ・ 電池を取り巻く状況 ・ LFP 電池の地産・地消・地援モデル”Re-Impact” ○ 新たな産業創出のご提案 ・ Inbound Sustainable & Development City 構想(案)
15:40 ～ 16:00	【活動報告】(INS 岩手県リン資源地産地消研究会 事務局) 「いわて革新的科学技術活用・創出支援事業」 高リン含有廃棄物を原料とした効率的リン酸資源 回収・集約方法の開発を目指して 岩手県工業技術センター 上席専門研究員 佐々木 昭仁	○ 岩手県工業技術センターのリンリサイクル研究 ○ リンリサイクルの「行政主導」の課題 ○ 小型・簡易リンリサイクルシステムの開発 ○ リンリサイクル品の高付加価値化 ○ バイオマスステーション化の進めとリンリサイクル
16:00 ～ 16:20	【活動報告】(INS 岩手県リン資源地産地消研究会 副会長) トヨタ自動車東日本(株)の化成処理(塗装)スラッジ 再資源化の取組について トヨタ自動車東日本(株) モビリティ要素開発部 クルマづくり革新室 材料開発 G 田中 卓実	○ 工場排出の廃棄物有効利用の取組 ・ 塗装由来廃棄物の現状と化成処理スラッジとは？ ・ 化成処理スラッジの資源化の概要と体制 ・ 技術開発の状況と今後の予定
16:25 ～ 16:55	【パネルディスカッション】 会場の皆様と共にリンリサイクルの機運醸成を目指して 司会者 INS 岩手県リン資源地産地消研究会 会長 パネリスト 基調講演者 ほか	○ 経済安全保障と地域のリンリサイクル ○ リチウムイオンバッテリーとリン資源回収の推進 ○ 行政主導と民間主導のリンリサイクル ○ これからの INS 岩手県リン資源地産地消研究会
17:00	アンケート記入/閉会	
18:30	INS 交流会（盛岡駅付近）	

- 8 申込方法 参加申込用紙(別紙)により、メールにてお申込み下さい。(申込締切:11月26日(木))
- 9 問合せ先 INS 岩手県リン資源地産地消研究会 事務局 佐々木昭仁 (岩手県工業技術センター 機能材料技術部)
E-mail: teruhito-s[]pref.iwate.jp ※ [] の箇所を@に置き換えてメールください。

別紙

【研究会 申込用紙】 メールでお申込みください。

(地独) 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木昭仁 宛

申込締切日 11月26日(木)

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

令和8年度 INS 岩手県リン資源地産地消研究会

～ リン(P) 資源リサイクルを行政主導から民間主導へ ～

12月3日(木) 13:00～17:00 開催

お名前			
御所属			
連絡先	御住所 TEL(必須) メールアドレス(必須) ※ 事務局からの回答及び連絡先となります。		
研究会・交流会	[研究会] 地方独立行政法人岩手県工業技術センター 3階 中ホール 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-25 [交流会] 交流会の会場は、盛岡駅周辺で計画しています。 ※ 後日、メールで御連絡いたします。		
※右の該当場所に ☑をお願いします。	① 研究会のみ参加 ☐	② 交流会のみ参加 ☐	③ 研究会・交流会のど ちらも参加 ☐

※新型コロナウイルス等の感染予防対策により、当セミナーが中止となる場合がございます。
中止の場合は、御記入いただいたメールへ返信いたします。

※発熱・体調不良の方はご出席をお控えいただきますようお願いいたします。

※交流会に参加希望の方は、11月26日以降、キャンセル・変更が出来ません。

大変恐縮ではございますが、欠席の場合(交通網の不具合・急遽も含む)も交流会費のお支払い
(後日請求)へ御協力をお願いいたします。